

# 岐阜県における豚熱対応記録

～平成30年9月から始まった豚熱への対応～

岐阜県

## はじめに

平成30年9月に、日本国内では26年ぶり、岐阜県内では36年ぶりに発生した豚熱は、令和元年9月までのわずか1年あまりの間に、20の農場を含む24もの県内施設で防疫措置を行い、県内飼養頭数のうち約7万頭、発生前の約6割の豚を失うこととなりました。

その後、殺処分等を実施した22農場のうち、16農場で飼養を再開し、県全体の飼養頭数も10万5千頭、実に発生前の91%まで回復しました。残念ながら高齢化や後継者の問題などから経営再開を断念する農場もありましたが、県内養豚業の再生の歩みは着実に進んでおります。

農場等で豚熱がひとたび確認されれば、家畜伝染病予防法に基づき発生農場等での全頭殺処分が実施されます。これはまさに時間との闘いでありました。24時間昼夜を問わず建設業協会、県獣医師会、県畜産関係団体、医療関係者をはじめ、国の機関、全国都道府県から派遣していただいた獣医師、自衛隊など、さらには県職員を含めますと延べ3万人の方々に防疫作業に従事いただきました。全ての皆さまに、改めて厚く御礼申し上げます。

また、発生が一向に収まらない状況が続く中で、円滑な防疫作業のための体制構築、自衛隊との連携、暑熱・寒冷対策など、業務の改善も重ねてまいりました。

同時に、国に対しては、飼養豚へのワクチン接種を認めていただくよう、粘り強く要望を行ってまいりました。その結果、令和元年9月には、予防的ワクチン接種に向けた防疫指針の見直しが発表されました。

さらには、野生いのししへの豚熱対策として、生息地への経口ワクチン散布を日本で初めて実施するなど、農場を守る対策と野生いのしし対策の両輪で取り組んでまいりました。

全国的にはまだまだ豚熱が拡大している状況にあり、気を緩めることなく、豚熱対策に取り組んでいるところですが、最終発生から3年が経過したことを契機に、本県におけるこれまでの取組みをまとめました。広く関係者の皆様の参考になれば誠に幸いです。

令和4年10月1日 岐阜県知事 古田 肇

# 目次

## はじめに

第1章 豚熱（CSF、豚コレラ）の発生概要	- 1 -
1 豚熱の対応の経過	- 2 -
2 豚熱発生確認までの経過	- 5 -
3 初期対応に関する検証作業	- 8 -
4 豚熱の発生・防疫措置概要	- 9 -
第2章 対策本部等の体制	- 13 -
1 岐阜県家畜伝染病対策本部	- 14 -
2 情報集約体制	- 17 -
3 国現地対策本部（リエゾン）	- 21 -
4 岐阜県CSF有識者会議	- 22 -
第3章 防疫措置	- 31 -
1 異常豚の届出から移動・搬出制限解除までの流れ	- 32 -
2 異常豚発見の届出の受理から病性鑑定	- 35 -
3 防疫措置開始に向けた準備	- 40 -
4 移動自粛～消毒ポイントの設置、埋却地確保	- 42 -
5 資材の手配	- 44 -
6 殺処分、埋却、家畜排せつ物処理等	- 48 -
7 撤収、事後対応、制限解除	- 53 -
8 報道発表等	- 55 -
9 動員、応援、協定による支援	- 56 -
10 作業従事者の安全確保対策	- 61 -
第4章 農場を守る対策（まん延防止と緊急対策）	- 65 -
1 発生初期の緊急対策	- 66 -
2 早期出荷への取組み	- 71 -
3 強い畜産構造改革支援事業（県単独補助事業）	- 73 -
第5章 国に対する要望・提案	- 75 -
1 発生後から関係8県緊急要望（令和元年9月実施）まで	- 76 -
2 豚コレラ対策に関する緊急要望（関係8県）	- 78 -
3 全国知事会CSF対策プロジェクトチーム	- 80 -

4	関係法令の改正 .....	- 82 -
<b>第6章</b>	<b>ワクチン接種 .....</b>	<b>- 85 -</b>
1	豚熱発生（平成30年9月）からワクチン接種までの経過.....	- 86 -
2	初回一斉接種とモニタリング .....	- 87 -
3	継続的な豚へのワクチン接種とモニタリング .....	- 89 -
4	ワクチン接種に関する手数料 .....	- 92 -
5	知事認定獣医師制度 .....	- 93 -
<b>第7章</b>	<b>野生いのしし対策 .....</b>	<b>- 97 -</b>
1	野生いのししの豚熱感染経過 .....	- 98 -
2	野生いのししの検査体制の強化.....	- 101 -
3	野生いのしし豚熱感染拡大防止柵の整備等 .....	- 105 -
4	狩猟の制限.....	- 106 -
5	野生いのししの生息頭数（生息密度）の把握.....	- 107 -
6	捕獲の強化.....	- 109 -
7	経口ワクチン散布.....	- 111 -
8	登山者等への注意喚起 .....	- 119 -
9	野生いのししの検査結果の推移.....	- 120 -
<b>第8章</b>	<b>農場を守る対策（再開支援と産地再生） .....</b>	<b>- 123 -</b>
1	殺処分に伴う補償及び利子補給.....	- 124 -
2	豚熱発生農家の経営再開ルール.....	- 126 -
3	養豚業再生支援策（令和元年11月） .....	- 127 -
4	県産豚肉のPR .....	- 129 -
5	ブランド豚「ポーノブラウン」の再造成.....	- 132 -
6	養豚業再生支援センターの設置と支援.....	- 134 -
<b>第9章</b>	<b>家畜防疫体制の強化 .....</b>	<b>- 141 -</b>
1	飛騨家畜保健衛生所の移転整備.....	- 142 -
2	獣医師の人材育成.....	- 145 -
	<b>参考URL.....</b>	<b>- 147 -</b>

コラム1 「異動は突然に」～ある次長級職員の手記より～.....	- 10 -
コラム2 「ビリニュースの街に降り立って」～ある次長級職員の手記より ～ .....	- 27 -
コラム3 「深夜の車列に手を振って」～ある次長級職員の手記より～ .....	- 63 -
コラム4 「今日は晴れがましい日！」～ある次長級職員の手記より ～ .....	- 94 -

## 資料編

※本文中における所属名は、特段の記載がある場合を除いて、令和4年4月1日時点の所属名で記載しています。

※本文中にある「防疫指針」は、「豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針」を指しています。